



はるよこい

はにゅうしりつとしゃかん

【はる】

「さくらがさくと」
 とうごう なりさ // 作 福音館書店 Eサ
 3月の月曜日、駅に向かう人々が足早に通る過ぎる川沿いの並木道。しかし、今日の朝はいつもとちよつとちがう。美しく咲いた桜並木を見上げ、人々は思わず足を止め…。

「ぐりとぐらのおおそうじ」
 中川 李枝子 // 作 山脇 百合子 // 絵 福音館書店 Eグ
 春がきました。ぐりとぐらの部屋はほこりだらけ。でも、ほうきや雑巾はぼろぼろで使い物になりません。そこで、2匹は古くなった服などを着こみ、自分たちがほうきや雑巾になることにします…。

「てんとうむしぱっ」
 中川 ひろたか // 文 奥田 高文 // 写真 ブロンズ新社 Eテ/ハジメ
 てんとうむしが「ぱっ」と飛んだら、チュウリップが「ぱっ」と開いたよ。しゃんたの写真で楽しむファーストブック。

「はるかぜさんぽ」
 えがしら みちこ // 作 講談社 Eオ
 風にのって、おさんぽしよう！女の子が春のおさんぽで出会ったのは、さくら、しゃぼん玉、だんごむし、たんぽぽのわたげ…。

「ふうとはなとたんぽぽ」
 いわむら かずお // 作 童心社 Eフ
 野原で子うさぎの「ふう」と「はな」が出会ったのは、たんぽぽとてんとう虫、べにしじみ、みつばち。そこでふたりは、自分たちの名前に込められたすてきな意味を知ります。

「おはなみバス」
 すとう あさえ // 文 ிரியاما さとし // 絵 ほるぷ出版 Eハ
 おはなみバスが走ります。ぶつぶー。りすさん、うさぎさん、たぬきさんを乗せてさくらやまへ。みんなは、つくってきたおはなみ弁当をみせっこして…。

【はる】

「かふんとみつ」
 飯野 和好 // 作 絵本塾出版 Eカ
 春は南のほうからやってきます。木々がつぼみをつけ、花が咲き、花の蜜をもとめて、ミツバチやチョウなどがやってきます。あまーい蜜をもとめて、やってくるのです…。

「たんぽぽねこ」
 せな けいこ // 作・絵 鈴木出版 Eタ
 白ねこは、たんぽぽの綿毛を集めて、ふとんの中につめました。素敵なふとんができて、白ねこは満足です。ところが、かぜが吹くとふとんが急にあばれだし…。

「つくし」
 甲斐 信枝 // 作 福音館書店 Eツ
 つくし誰のこすぎなの。春の野原にによきによき立っているつくし。つくしの根っこはどうなっているのだろう。

「はるとあき」
 齊藤 倫 // 作 うきまる // 作 吉田 尚令 // 絵 小学館 Eハ
 わたしは「春」。季節が巡る中で、「秋」に会ったことがないわたしは、「秋」に手紙を書くことを思いつき…。

「ミツバチたち」
 カーステン ホール // 文 イザベル アルスノー // 絵 化学同人 Eミ
 花からミツを集めるミツバチたち。巣に帰ると、花のあった場所をダンスでほかのハチに教えたり、ハチミツを作ったり…。

「おはなみくまちゃん」
 シャーリー パレントー // 文 デイヴィッド ウォーカー // 絵 岩崎書店 Eオ
 桜が満開になりました。くまちゃんたちはお花見をすることに。バスケットを準備して、太鼓を叩き、凧を持って、お花見の始まりです！

「おはなみ」
 くすのき しげのり // 作 まるやま あやこ // 絵 あかね書房 Eオ
 お花見の翌日、ハルトが公園に遊びにいくと、ミキとおばあちゃんが掃除をしています。「どうしてゴミを片づけてるの」と尋ねるハルトでしたが…。

「はるじやのばけつ」
 白土 あつこ // 作・絵 ひさかたチャイルド Eタ
 桜の花びらをばけつに集めていたたつくん。そこへ、たぬきがやってきて「そのばけつにめだかを入れようよ」と言われたたつくんは…。